

柳川郷土研究会  
会誌「水郷」付録

すいきょう

# 瓦版

発行所 柳川郷土研究会  
柳川市本城町113-1  
発行人 武松 豊

## 土竜(もぐら)の囃き

今月号から表紙の絵が変わる。

柳川、本城町の、立花三楽氏が描いた柳川城復元図である。今のちようど西側、筑紫ビルの方角から望んだ復元図であり、中央に天守閣、左に西中櫓、その左に乾櫓。また、天守閣から右に南中櫓、異櫓、土居を経て二の丸御門が小さく描かれている。三楽氏は河村哲夫氏の著作「志は、天下」の表装紙の為に柳川城を五景ほど描かれており、ご好意により順次表紙絵として紹介していく。

今、柳川の街はこの地方独特のお雑さま祭り「さげもんめぐり」の真っ最中である。城下町柳川に生きづいているこの催しも近年盛大になり観光客も多い。観光は人を呼び人の動きは経済を刺激し潤し活性化する。

全国の自治体はいま観光の柱を精力的に整備しており、熊本市では熊本城築城四百年を機に全城郭復元をめざしている。彦根城も修復が終わった。名古屋の天守閣も立派に化粧直しがおわり丸亀城も着々計画が進んでいる。三楽氏の調査によれば柳川城主は五層五階八棟造りでおよそ二十四角の石垣土台に高さ三十一段。復元されれば日本最大級だ。天守閣があれば名実ともに柳川は城下町になる。